



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月1日

上場会社名 日本システムウエア株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9739 URL https://www.nsw.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役執行役員社長 (氏名) 多田 尚二
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員常務 (氏名) 須賀 譲 (TEL) 03-3770-1111
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績 (2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	27,088	△0.3	2,655	△2.9	2,685	△2.8	1,715	△9.4
2020年3月期第3四半期	27,183	8.4	2,735	19.4	2,763	18.4	1,892	20.7

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 1,719百万円(△9.0%) 2020年3月期第3四半期 1,889百万円(20.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	115.14	—
2020年3月期第3四半期	127.02	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	30,324	22,569	74.4
2020年3月期	30,516	21,372	70.0

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 22,569百万円 2020年3月期 21,372百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
2021年3月期	—	20.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	38,500	0.6	3,500	△9.3	3,540	△9.2	2,400	△10.1	161.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	14,900,000株	2020年3月期	14,900,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	437株	2020年3月期	395株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	14,899,565株	2020年3月期3Q	14,899,614株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(セグメント情報等)	9
(追加情報)	10
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況が続くなかで段階的に経済活動の再開が進み、一部で持ち直しの動きが見られました。ただし、先行きにつきましては、感染症再拡大に伴い不透明感が高まっております。

情報サービス産業界におきましては、景気悪化に伴う企業のIT投資の先送りや抑制など一部に慎重な動きが見られるものの、ウィズ/アフターコロナ社会を支えるサービスやソリューションの需要が急速に高まっているほか、IoT、AI、5G/ローカル5Gなどのデジタル技術を駆使しビジネスプロセスや業務プロセスを大きく変えていくデジタルトランスフォーメーション（DX、デジタル変革）の取り組みが加速しております。

このような状況の下、当社グループは、長年培ってきた幅広い業種・業務知識やノウハウと最新のデジタル技術を融合させることにより、お客様のビジネスモデル変革と業務プロセス改革に貢献し、お客様のDX実現のベストパートナーを目指して、中期経営計画（2019年4月～2022年3月）のもと事業拡大に取り組んでおります。

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、受注高は267億27百万円（前年同四半期比1.8%増）、売上高は270億88百万円（同0.3%減）、営業利益は26億55百万円（同2.9%減）、経常利益は26億85百万円（同2.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は17億15百万円（同9.4%減）となりました。

なお、2020年11月13日に発表にしました「修正後発事象に係る「2021年3月期第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」への反映について」の損害賠償損失引当金繰入額は、当第3四半期連結累計期間において損額賠償金額が確定し損害賠償損失として特別損失に計上しております。

当第3四半期連結累計期間の報告セグメント別の概況は、次のとおりであります。

<ITソリューション>

売上高につきましては、第3四半期に小売業向けシステム機器販売などが堅調に推移しましたが、前年上期の官公庁・団体向けシステム開発の反動に加え、製造業向けシステムをはじめとした一部案件が開発フェーズの谷間に当たること、不採算案件による機会損失などが影響し減収となりました。利益につきましては、不採算案件による影響は減少したものの、減収に伴う利益減などにより減益となりました。これらの結果、受注高は84億80百万円（前年同四半期比7.7%減）、売上高は86億15百万円（同6.5%減）、営業利益は5億86百万円（同34.2%減）となりました。

<サービスソリューション>

売上高につきましては、IoT&AIサービスをはじめとするデジタルソリューション事業やクラウドサービス事業が堅調に推移し、また、下期に入り中断していた案件が徐々に再開し始めたことにより増収となりました。利益につきましては、事業拡大に向けた体制強化などにより減益となりました。これらの結果、受注高は70億38百万円（前年同四半期比13.1%増）、売上高は71億89百万円（同2.3%増）、営業利益は3億48百万円（同12.2%減）となりました。

<プロダクトソリューション>

売上高につきましては、画像処理やエッジAI関連市場の伸びを背景にデバイス開発事業が堅調に推移し増収となりました。なお、組込み開発事業におきましては、インダストリー分野のスポット案件などが減少したものの、オートモティブ分野のCASE領域などが増加しており、全体としては横ばいで推移しております。利益につきましては、増収に伴う利益増などにより増益となりました。これらの結果、受注高は112億8百万円（前年同四半期比3.5%増）、売上高は112億84百万円（同3.1%増）、営業利益は17億19百万円（同18.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、303億24百万円となり、前連結会計年度末比1億92百万円の減少となりました。これは主に、商品の増加(2億67百万円)、仕掛品の増加(11億95百万円)があったものの、受取手形及び売掛金の減少(18億26百万円)があったことによるものであります。

総負債は、77億55百万円となり、前連結会計年度末比13億88百万円の減少となりました。これは主に、未払法人税等の減少(7億1百万円)、賞与引当金の減少(5億68百万円)、未払消費税等の減少(3億23百万円)があったことによるものであります。

純資産は、225億69百万円となり、前連結会計年度末比11億96百万円の増加となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、配当金の支払などの支出を営業活動によるキャッシュ・フローで賄い、前連結会計年度末と比べ15百万円減少し、114億72百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間の活動別概況は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、9億83百万円(前年同四半期比12億53百万円の収入の減少)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益24億40百万円に対し売上債権の減少額17億69百万円、たな卸資産の増加額14億62百万円及び賞与引当金の減少額5億68百万円があったことに加え、法人税等の支払額11億75百万円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、4億86百万円(前年同四半期比2億79百万円の支出の増加)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出2億52百万円、敷金及び保証金の差入による支出1億55百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、5億11百万円(前年同四半期比29百万円の支出の増加)となりました。これは主に、配当金の支払額5億11百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、2020年7月27日に発表しました業績予想から変更はありません。なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報や予測等に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想値と大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,488	11,472
受取手形及び売掛金	8,844	7,017
電子記録債権	94	151
商品	226	493
仕掛品	837	2,033
貯蔵品	2	2
その他	321	727
流動資産合計	21,815	21,899
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,048	2,028
工具、器具及び備品（純額）	328	306
土地	3,861	3,861
その他（純額）	3	2
有形固定資産合計	6,241	6,198
無形固定資産		
ソフトウェア	81	64
その他	36	33
無形固定資産合計	117	98
投資その他の資産		
投資有価証券	31	36
繰延税金資産	1,234	885
その他	1,089	1,219
貸倒引当金	△12	△12
投資その他の資産合計	2,341	2,128
固定資産合計	8,701	8,425
資産合計	30,516	30,324

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,593	2,505
未払法人税等	730	29
未払消費税等	548	225
賞与引当金	1,023	454
工事損失引当金	221	—
製品保証引当金	—	3
その他	1,671	2,108
流動負債合計	6,789	5,327
固定負債		
役員退職慰労引当金	2	2
退職給付に係る負債	2,295	2,358
その他	57	67
固定負債合計	2,354	2,428
負債合計	9,144	7,755
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,500	5,500
資本剰余金	86	86
利益剰余金	15,786	16,978
自己株式	△0	△0
株主資本合計	21,372	22,564
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3	7
為替換算調整勘定	9	8
退職給付に係る調整累計額	△12	△11
その他の包括利益累計額合計	0	5
純資産合計	21,372	22,569
負債純資産合計	30,516	30,324

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	27,183	27,088
売上原価	21,904	21,958
売上総利益	5,279	5,130
販売費及び一般管理費		
役員報酬	104	108
執行役員報酬	114	144
給料及び賞与	1,100	1,098
退職給付費用	50	45
福利厚生費	210	215
通信交通費	138	76
業務委託費	151	157
賃借料	89	106
その他	583	522
販売費及び一般管理費合計	2,544	2,474
営業利益	2,735	2,655
営業外収益		
保険配当金	8	11
助成金収入	9	10
その他	15	13
営業外収益合計	33	35
営業外費用		
為替差損	2	2
保険解約損	1	2
その他	0	0
営業外費用合計	4	5
経常利益	2,763	2,685
特別利益		
固定資産売却益	1	—
特別利益合計	1	—
特別損失		
固定資産除却損	0	45
固定資産売却損	4	—
損害賠償損失	—	199
特別損失合計	4	245
税金等調整前四半期純利益	2,760	2,440
法人税、住民税及び事業税	602	380
法人税等調整額	265	344
法人税等合計	868	724
四半期純利益	1,892	1,715
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,892	1,715

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	1,892	1,715
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1	3
為替換算調整勘定	△6	△0
退職給付に係る調整額	0	1
その他の包括利益合計	△3	4
四半期包括利益	1,889	1,719
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,889	1,719

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,760	2,440
減価償却費	354	361
賞与引当金の増減額(△は減少)	△852	△568
工事損失引当金の増減額(△は減少)	62	△221
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	85	63
損害賠償損失	—	199
固定資産除却損	0	45
売上債権の増減額(△は増加)	2,548	1,769
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,011	△1,462
仕入債務の増減額(△は減少)	△146	△77
前受金の増減額(△は減少)	△27	26
未払消費税等の増減額(△は減少)	2	△318
その他	△99	100
小計	3,676	2,358
法人税等の支払額	△1,440	△1,175
損害賠償金の支払額	—	△199
その他	0	0
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,236	983
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△93	△252
有形固定資産の売却による収入	15	—
無形固定資産の取得による支出	△7	△14
敷金及び保証金の差入による支出	△28	△155
保険積立金の積立による支出	△15	△12
保険積立金の払戻による収入	3	10
その他	△82	△62
投資活動によるキャッシュ・フロー	△206	△486
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△477	△511
その他	△4	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△482	△511
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6	△0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,541	△15
現金及び現金同等物の期首残高	8,402	11,488
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,943	11,472

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	IT ソリューション	サービス ソリューション	プロダクト ソリューション	
売上高				
外部顧客への売上高	10,216	5,768	11,198	27,183
セグメント間の内部売上高又は振替高	△998	1,256	△257	—
計	9,217	7,025	10,940	27,183
セグメント利益	891	397	1,446	2,735

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	IT ソリューション	サービス ソリューション	プロダクト ソリューション	
売上高				
外部顧客への売上高	9,147	6,464	11,476	27,088
セグメント間の内部売上高又は振替高	△532	724	△192	—
計	8,615	7,189	11,284	27,088
セグメント利益	586	348	1,719	2,655

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。